

令和元年第4回大仙市議会定例会

# 市 政 報 告

令和元年11月26日

大仙市長 老 松 博 行

令和元年第4回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、岩手県宮古市との友好交流についてであります。

宮古市との交流につきましては、平成11年の「秋田・岩手地域連携軸推進協議会」の設立がきっかけであり、地域資源の共有と交流・連携の促進による相互発展を目指し、様々な協議会活動を共に取り組んだことが始まりでありました。平成20年にはこの協議会を土台とした「大規模災害時における秋田・岩手横軸連携相互援助に関する協定」の締結が実現し、防災分野でも結びつきを持つこととなり、平成23年の東日本大震災では甚大な被害を受けた宮古市に対し大仙市として積極的な復旧・復興支援を行うとともに、平成29年に本市で発生した大雨災害では宮古市から多大なる支援をいただいたところであります。こうした様々な出来事を通じて両市の友好関係は年々深まっており、「大仙市秋の稔りフェア」での宮古産サンマの無料配布をはじめ、両市の各種イベントでの特産品ブースの設置や「大曲の花火」招待事業の実施、全国500歳野球大会への招待、教育関係者による視察、市職員の人事交流など様々な交流が展開されております。

両市では、こうした交流の深まりを契機に、今後も持続的かつ発展的な友好交流を行うため、10月5日に、両市の市議会議員や農商工団体、

市職員など関係者約70名の出席のもと、宮古市にて「大仙市・宮古市友好交流都市協定」を締結しております。これまで育んできた絆を大切に、産業や経済、文化、教育、スポーツなど幅広い分野で一層の親交を深めながら、両市の相互発展に繋げてまいります。

次に、台風19号関係についてであります。

去る10月12日から日本に上陸した台風19号につきましては、全国各地に甚大な被害をもたらしたところであり、本市でも、幸い人的被害はなかったものの、倒木による住宅の一部破損や強風による農業被害、浸水による事業所被害などが発生しております。被害に遭われました皆様に対し心からお見舞いを申し上げます。このほか「全国ジャンボうさぎフェスティバル」の中止をはじめ、「大曲の花火 秋の章」や「きょうわ祭<sup>さい</sup>」の延期など様々な影響が生じたところでもあります。

この台風19号は、友好交流都市となった宮古市にも大きな被害を与えており、これを受け、宮古市と連絡を取り合いながら家屋調査業務や保健業務、給水業務、災害対策本部業務などの支援を行うため、本市から応援職員を派遣しております。

今回の台風は、猛威を振るいながら東日本を縦断した結果、各地で河川の氾濫や土砂崩れなどが発生しており、築堤等のハード対策の必要性を改めて感じた一方、河川堤防の越水や決壊が相次いだことを受け、

避難対策などのソフト対策の重要性を強く認識したところであります。

今回の台風被害をひとつの教訓に、市民の皆様の命と財産を守るため、災害時に備えた避難体制の見直しや強化を図るとともに、築堤整備や排水施設の設置を含むハード整備について国や県に重ねて要望するなど、引き続き災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

次に、部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

防災対策につきましては、今般の台風19号も含め、近年の大規模災害の頻発を踏まえ、11月14日に「危機管理と情報システムに係る講演会」を開催しております。被災者支援システム全国サポートセンター一長 <sup>よしだ</sup>吉田 <sup>みのる</sup>稔 氏を講師に迎え、阪神淡路大震災での被災から復興までの経験談や、その震災に基づいて開発された被災者支援システムの活用などについて講演をいただいております。また、11月20日には、雄物川の大規模氾濫に備えた取組として「雄物川危機管理演習」を実施し、湯沢河川国道事務所のほか、秋田県や本市を含む雄物川流域自治体の参加のもと、水害時の行動計画に基づいた実践的な演習を行っております。

職員採用試験につきましては、一般事務職中級及び初級、並びに初級土木の募集に対して50名の申込みがあり、一般事務職初級12名、

初級土木 2 名、障がいをお持ちの一般事務職 1 名、あわせて 15 名が合格しております。令和 2 年度については、このほか、一般事務職上級 14 名、学芸員 2 名、保健師及び管理栄養士の各 1 名、移住定住者 4 名が内定しておりますので、あわせて 37 名を新規採用する予定としております

雪対策につきましては、市民・事業所・行政が一丸となって雪に負けない市民協働のまちづくりを推進するため、11月1日に大曲市民会館を会場に「ゆき・まちだいせん 2019」を開催しております。自治会や自主防災組織の代表、道路除雪業者、除雪ボランティア「大仙雪まる隊」など約 200 人の参加のもと合同出動式を行っております。

次に、企画部関係についてであります。

計画最終年度を迎えている「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、人口減少の緩和や地方創生の実現に向け、各分野の機関・団体の代表者 24 名で構成する「大仙市総合戦略推進会議」を開催しており、専門的見地から貴重なご意見を頂戴しております。現在、こうしたご意見や現行戦略の検証結果、社会動向などを反映させた実効ある戦略づくりを目指して策定作業を進めており、今般、その素案がまとまったことから、今次定例会終了後に議員説明会の開催をお願いし、議員各位に概要を説明する予定としております。

買い物空白地域の解消に向けた取組として公設民営により設置を進めておりました「南外さいかい市」につきましては、10月13日に南外ふるさと館駐車場内にオープンしております。地域住民で組織する南外さいかい市運営協議会の皆様が運営を担い、9月に協力協定を締結した「生活協同組合コープあきた」から主に商品を仕入れております。地域の新たな食料品店として住民生活を支えるとともに、交流の場としての役割も果たす「小さな拠点づくり」のモデルケースとして期待しております。

空き家の活用促進につきましては、12月14日に、花火伝統文化継承資料館はなび・アムを会場に「空き家利活用促進セミナー」を開催する予定としております。これは株式会社秋田銀行との連携協定に基づいた取組であり、県内外で活躍する専門家を迎え、空き家の活用事例や実践方法を紹介していただくこととしております。空き家問題の解決に向けた新たな取組として有意義な機会にしたいと考えております。

次に、市民部関係についてであります。

環境対策につきましては、今般、本市の環境保全対策に関する指針である「第2次 大仙市環境基本計画」を策定したことから、今次定例会終了後、議員説明会の開催をお願いし、議員各位に計画概要を説明する予定としております。

食品ロスの削減につきましては、「3010運動」による啓発活動や分量に配慮した料理の提供などを行う「食べきり協力店」の登録を推進しており、11月18日現在の登録数が34店舗となっております。今後も引き続き協力店を募り、協力体制を構築しながら、食品ロスの削減に対する意識の醸成と定着を図ってまいります。

安全・安心のまちづくりにつきましては、10月17日に、中仙農村環境改善センターにおいて、「安全安心推進集会」を開催しております。交通安全や防犯、防災、青少年健全育成の関係団体から約230人の皆様に参加をいただき、6個人と2団体に対し功労者表彰を行っております。また、近年の高齢ドライバーの交通事故増加を踏まえ、安全装置付車両の体験乗車会や、弁護士かわむらのりひとの河村憲史氏による交通事故に関する講演会を開催しております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

子育て支援の充実につきましては、子育てに安心と喜びを感じることができる社会環境の構築に向けた切れ目のない支援制度を構築するため、9月3日に副市長を総括とする「子育て支援制度等検討会議」を設置しております。現在、子育て世代のニーズや生活環境の変化等を踏まえた事業拡充や制度創設について検討を行っており、出会いや結婚支援も含め、今後、実現可能となった事業については、来年度から実施できる

よう準備を進めてまいります。

この検討会議では、10月からスタートした「幼児教育・保育の無償化」についても検討対象に加えております。これは、保育所や認定こども園を利用する3歳から5歳までの児童等の利用料が無償化された一方、これまで保育料に含まれていた副食費が無償化から外れ、県と歩調をあわせた一部助成を実施している現状を踏まえたもので、来年度からの副食費に対する支援拡充に向けて、現在、検討を重ねているところであります。

今年度から初めて合同開催とした「大仙市戦没者追悼式・平和祈念フォーラム」につきましては、10月9日に、仙北ふれあい文化センターを会場に開催しております。戦没者の遺族や関係者など約200人の参加のもと、戦没者の追悼をはじめ、平和標語コンクールの表彰や非核平和レポーターによる研修成果の発表を行い、戦争の悲惨さや恒久平和の願いを後世に継承する機会としております。

次に、農林部関係についてであります。

「農業と食に関する活性化基本構想」につきましては、11月12日に3回目となる策定委員会を開催し、有識者である委員の皆様から専門的なご意見を頂戴しております。優れた農産物や農産加工品、地酒、発酵食品など本市が誇る地域資源を最大限に活用し、持続可能な強い



農業の実現と本市全体の活気をもたらす裾野の広い産業構想の策定に向け、引き続き作業を進めてまいります。

10月19日、20日の両日、大曲ヒカリオ広場及び花火通り商店街を会場に開催した「秋の稔りフェア」につきましては、初日はあいにくの悪天候となりましたが、二日目は絶好の秋晴れとなり、大仙市の秋の稔りを楽しみに訪れた多くの方々に賑わっております。

鮭資源の確保につきましては、9月8日に、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、本県初開催となった「第39回 全国豊かな海づくり大会」において、本市の「雄物川鮭増殖漁業生産組合」が功績団体表彰として環境大臣賞を受賞しております。市では、その功績を讃えるとともに、歴史ある鮭資源の確保活動を広く周知するため、11月9日に、仙北ふれあい文化センターを会場に、東京海洋大学客員准教授を講師に迎え、記念講演会を開催しております。

次に、経済産業部関係についてであります。

国のモデル事業として選定され、厚生労働省の委託事業として取り組む「地域雇用活性化推進事業」につきましては、10月1日に関係団体で構成する大仙市雇用創造協議会の事務所を開設しております。今後、企業の魅力向上と雇用の創出を図るための各種セミナーを実施することとしており、本市産業の振興と経済の活性化を強力に進めてまいります。

新たな企業団地の整備につきましては、10月1日に地権者等を対象に説明会を開催しており、16名の出席のもと、事業計画や用地買収の手続き等について説明を行っております。今後、この団地整備を円滑に推進していくため、農業委員会や大曲土地改良区等の関係機関との連携協力体制を築きながら、「農村地域への産業の導入の促進等に関する法律」に基づく実施計画の策定や、農振除外、農地転用の手続きなどに取り組んでまいります。

今年で15回目となる大仙市技能功労者表彰につきましては、9月26日に、推薦団体や議員各位をはじめ多数の皆様のご出席のもと、ものづくりに対して優れた技能を持ち、本市産業の発展に尽力された6名の皆様に技能功労者として表彰しております。

太田町生活リゾート株式会社につきましては、10月4日開催の議員説明会での説明のとおり、深刻な経営難に陥っていることから解散・清算に向けた準備を進めております。11月14日に定時取締役会が開催され、解散議案が可決されたところであり、12月中に予定されている株主総会において解散議案を上程する予定となっております。なお、同社が現在指定管理者として運営している市の施設については、令和2年度以降、中里温泉は当面市の直営とし、大台スキー場を含むその他の公共施設は他の指定管理者による運営とする方向で検討しております。

また、この中里温泉を含む市の温泉施設につきましては、近年の利用

者の減少を踏まえ、今後の施設のあり方について抜本的な見直しを図るため、来年度にかけて集中的な検討を行いたいと考えており、今次定例会に指定管理期間を1年延長する議案を上程しているほか、あわせて債務負担行為の変更をお願いしております。

次に、建設部関係についてであります。

「道路除雪事業」につきましては、これまで大曲地域を除く7地域において共同企業体による除雪作業を実施してまいりましたが、今冬からは大曲地域においても地域を3ブロックに分割した上で、他の地域と同様に共同企業体による除雪を行うこととしております。除雪作業を担う事業者については、10月31日にプロポーザル方式により選定され、10共同企業体と業務委託契約を締結しております。

次に、災害復旧事務所関係についてであります。

平成29年から2カ年にわたり発生した大雨災害に伴う「災害復旧事業」につきましては、11月22日現在で188カ所全ての工事の発注を終え、うち96%に当たる181カ所で工事が完了しております。残る被災箇所うしざわの市道牛沢線及び林道さわないみずさわ沢内水沢線については、年内完成を予定しておりましたが、復旧工法に変更が生じたことに伴い、国・県との協議を経て、今年度中の工事完成を目指すこととしております。

次に、教育委員会関係についてであります。

中仙地域の学校統合につきましては、9月26日に関係教職員及び教育委員会職員から構成する「中仙地域統合小中学校開校準備委員会」を設置しており、保護者や地域関係団体への説明、施設整備の準備など分野ごとに作業チームを編成し、統合に向け取組を進めております。

秋田県教育委員会の主催により行われた「令和元年度 学力向上フォーラム」につきましては、11月23日に大曲小学校、大曲中学校、大曲高等学校及び大曲市民会館を会場に開催され、県内外の教育関係者約1,100人が参加しております。フォーラムでは、会場校による公開授業や本市教員による持ち込み授業が行われたほか、「大仙教育メソッド」の実践発表や講演、公開座談会が開催されております。

「第41回 全県500歳野球大会」につきましては、9月21日から25日までの5日間、神岡野球場を主会場に市内18会場で開催され、全県各地から180チームが出場しております。大会期間中、雨による影響が心配されましたが無事終了しており、秋田市の牛島クラブが優勝を果たし、本市の角間川角球クラブが準優勝に輝いております。

最後に、令和2年度当初予算編成について申し上げます。

来年度は、「第2次 大仙市総合計画 後期実施計画」並びに「第2期 大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により新たなまちづくりが

スタートすることから、中長期的な視点で人口減少の抑制や地方創生の実現を目指し、着実な事業展開を図っていくことを念頭に置いた予算編成に努めてまいります。

主な事業としては、継続事業となる「（仮称）大綱交流館整備事業」や新規事業として「花館小学校校舎増築事業」など大型事業が予定されているほか、会計年度任用職員制度の導入等により、一般会計の当初予算総額は、本年度を上回るものと見込んでおります。

一方、歳入については、合併算定替えによる特例期間の終了に伴い、普通交付税が減額されることから、今後も厳しい財政運営が続くものと見込まれております。こうしたことから、事業の「選択と集中」のより一層の推進と、PDCAサイクルによる事業検証に加え、有効性や公平性、効率性、代替の可能性など、あらゆる視点から抜本的な見直しが必要となっております。

こうした厳しい財政状況ではありますが、予算編成においては、現在、全庁体制で検討を進めている「総合的な子育て支援制度」や「農業と食に関する活性化基本構想」、「企業団地整備プロジェクト」のほか、次世代へ繋ぐ地域創造に向けた潜在的な成長力のさらなる掘り起こしや、少子化及び若者定住対策を強く押し進める施策など、本市の発展に欠かせない、市民の皆様の満足度向上に資する施策については予算を重点的に配分するなど、メリハリのある予算編成に取り組んでまいります。

以上、諸般の状況を申し上げましたが、これ以外のものについては、別添のとおり報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和元年第4回大仙市議会定例会  
市政報告

市長報告以外の諸般の報告

令和元年11月26日

大仙市

## 目 次

### 【企画部】

- 1 秋田新幹線防災トンネル整備促進期成同盟会の要望活動について . 3
- 2 地域協働雪対策事業について..... 3

### 【健康福祉部】

- 3 高齢者等雪対策総合支援事業について..... 3
- 4 敬老会について..... 3
- 5 金婚式について..... 3
- 6 第17回秋田県障害者スポーツ大会について..... 3
- 7 障がい者施設整備事業について..... 3
- 8 たばこの受動喫煙防止対策について..... 4

### 【農林部】

- 9 稲作について..... 4
- 10 園芸メガ団地のトマト栽培について..... 4
- 11 いちご栽培について..... 4
- 12 各地域の秋のイベントについて..... 4
- 13 肥育養豚団地の開設について..... 5
- 14 クマの出没状況について..... 5

### 【経済産業部】

- 15 令和2年3月高校卒業予定者の就職活動状況について ..... 5
- 16 若年者の地元定着対策等について..... 5
- 17 大仙市首都圏企業懇話会について..... 5
- 18 大仙市企業連絡協議会と市部長会との研修会及び情報交換会について . 6
- 19 足利大学との連携事業について ..... 6
- 20 まるごと秋田だいせん in 新宿について..... 6
- 21 第28回大仙市大曲ドリンクテーリングについて..... 6
- 22 旧池田氏庭園弘田分家庭園のライトアップについて ..... 6
- 23 第25回宮古市産業まつりについて..... 6
- 24 宮崎県宮崎市との有縁友好交流について..... 7
- 25 神奈川県座間市との友好交流について..... 7



【建設部】

- 26 国事業について..... 7  
27 「（仮称）はなびの小路整備事業」について..... 7

【教育委員会 教育指導部】

- 28 大仙市立小学校空調設備設置工事について..... 7  
29 大曲中学校水泳プール改築工事について..... 8  
30 大仙防災教育「生き抜く力育成」事業について..... 8  
31 こころのプロジェクト「夢の教室」音楽バージョンについて ..... 8

【教育委員会 生涯学習部】

- 32 生涯学習の推進について..... 8  
33 東北将棋大会について..... 8  
34 大仙市音楽祭2019の開催について..... 9  
35 「だいせん読書の日」について..... 9  
36 文化財保護について..... 9  
37 秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！鹿角大会について . 9

【上下水道局】

- 38 上水道事業について..... 9  
39 簡易水道事業について..... 9

## 【企画部】

### 1 秋田新幹線防災トンネル整備促進期成同盟会の要望活動について

1月20日、秋田県知事をはじめとする県の要望活動に同行し、国土交通省等に対して本トンネル整備の早期実現に向け要望活動を行いました。

### 2 地域協働雪対策事業について

10月29日現在、29団体から事業計画が提出され、この冬に向けた雪対策を順次進めています。

## 【健康福祉部】

### 3 高齢者等雪対策総合支援事業について

1月15日現在、916世帯から利用申請があり、間口除雪の支援が484世帯、雪下ろし事業者の割当て希望が558世帯となっており、これに対応する雪下ろし登録事業者は117事業者となっています。

### 4 敬老会について

9月3日の太田地域、協和地域を皮切りに15会場で開催し、あわせて3,428人の皆様から参加をいただいています。

### 5 金婚式について

10月29日に仙北ふれあい文化センターを会場に開催し、申込みのあった78組のご夫婦の結婚50周年を祝福しています。

### 6 第17回秋田県障害者スポーツ大会について

8月24日、9月7日及び14日に秋田市八橋陸上競技場などを会場に開催され、大仙市身体障害者福祉協会から出場した11名のうち5名が、一般卓球、陸上競技、フライングディスクにおいて1位を獲得しています。

### 7 障がい者施設整備事業について

1月1日、市の障がい者施設整備事業費補助金の交付を受けて建築工事を進めてきた社会福祉法人水交会の「グループホームかわみなと寮」及び非営利活動法人障がい者自立生活センターほっと大仙の「グループホーム銀のさじ」が運営を開始しています。

## 8 たばこの受動喫煙防止対策について

10月25日、大曲市民会館小ホールを会場に「たばこと健康を考えるセミナー」を開催し、医師による講演やパネルディスカッションを通じ、喫煙に関する正しい知識や本市の取組について広く普及を図っています。

### 【農林部】

## 9 稲作について

10月15日現在の全国の作況指数が「99」の平年並み、秋田県及び県南が「104」のやや良と発表されています。一方でJAの取りまとめによる本市の一等米比率は、11月1日現在で昨年より4ポイント低い94パーセントとなっています。

## 10 園芸メガ団地のトマト栽培について

11月8日に収穫を全て終え、出荷量が夏場の高温により計画の8割程であるものの、前年に比べ1割程の増であり、販売額についても2割程の増と伺っています。今後も、安定した収量の確保に向け、栽培手法や体制の見直しを図りながら、所得向上のための取組を支援していきます。

## 11 いちご栽培について

今シーズンも内小友及び太田長信田の両地区で栽培が行われており、9月上旬からの定植作業を終え、12月上旬の初出荷に向け、現在、摘葉作業が進められています。

## 12 各地域の秋のイベントについて

10月19日と20日の両日に開催した「第15回大仙市秋の稔りフェア」をはじめ、各地域では秋のイベントが次のとおり行われており、それぞれ盛会裏に終了しています。

10月14日	きょうわ祭（協和）
10月26日	かみおか地域文化祭（神岡）
10月26日、27日	にしせんぼく文化祭（西仙北）
10月26日、27日	太田地域芸術発表会（太田）
10月27日	おらだの秋フェス なんがい地域祭（南外）
〃	史跡の里の秋まつり（仙北）
11月2日、3日	なかせん芸術文化祭（中仙）

1 1月16日、17日 大曲地域文化祭（大曲）

### 13 肥育養豚団地の開設について

J A全農北日本くみあい飼料株式会社が南外地域猪ノ頭地内に開設する肥育養豚団地「秋田大仙農場」については、建設工事が順調に進んでおり、翌年1月10日から供用を開始する予定と伺っています。

### 14 クマの出没状況について

1 1月22日現在、市内でのクマの目撃数は79件、捕獲数は53頭で、昨年同時期と比較し、目撃数で25件、捕獲数で6頭少ないものの、高い水準で推移しています。今後は冬眠の時期に入りますが、県内全域にツキノワグマ出没警報が11月30日まで継続中であり、引き続き注意喚起を行っていきます。

## 【経済産業部】

### 15 令和2年3月高校卒業予定者の就職活動状況について

9月末現在のハローワーク大曲の集計によると、求人数が589人、昨年同期に比べ2.4ポイント上回っています。就職希望者は316人、このうち内定者は176人となっており、就職内定率は55.7%と昨年同期に比べ7.5ポイント減少しています。

### 16 若年者の地元定着対策等について

1 1月13日に、あきた就職活動支援センターとの共催により大曲地域職業訓練センターを会場として、若者の早期離職防止と管理職のスキルアップを目的とした「職場定着セミナー」を開催し、35人が参加しました。今後も若者の地元定着をはじめ、多様な人材の雇用促進を図るための取組を積極的に実施します。

### 17 大仙市首都圏企業懇話会について

1 1月19日に都内で開催し、本市に縁のある企業関係者に加え、地元選出の国会議員、ふるさと会、市議会議員、市内商工団体の関係者などの皆様があわせて72人が参加しています。懇話会では、株式会社タニタの谷田千里社長から講演をいただいたほか、市政の報告や企業支援策の紹介及び参加企業の現状などについて情報交換を行っています。

## 18 大仙市企業連絡協議会との研修会及び情報交換会について

11月12日、大曲商工会議所工業部会の「夢を語る会」との合同により、工業製品展示会や講演会を行ったほか、企業関係者との情報交換のための交流会を開催しています。

## 19 足利大学との連携事業について

9月12日と13日の両日、花火産業構想の施策の一つである「花火を支える人材の育成」に係る事業として、足利大学大学院教授丁大玉<sup>ていたいぎよく</sup>氏による煙火学出前講座を開催し、大曲農業高校、大曲工業高校及び六郷高校の1・2年生84名が、花火の歴史や種類、発色の仕組みなどについて学んでいます。

## 20 まるごと秋田だいせん in 新宿について

10月4日と5日の両日、JR新宿駅西口広場イベントコーナーを会場に開催し、多くの方に来場いただいております。本市のお土産ブランド「秋田・大仙 せんのぜん」を中心に、地酒や漬物などの特産品の販売を行ったほか、花火鑑賞士による「大曲の花火」の解説やドンパン娘による手踊りの披露などを行っています。

## 21 第28回大仙市大曲ドリンクテーリングについて

10月19日、秋の稔りフェアの協賛事業として開催し、大曲地域の飲食店27店のうち指定された3店と自由に選べる2店をあわせた5店を巡る本イベントに、約900人が参加しています。

## 22 旧池田氏庭園弘田分家庭園のライトアップについて

11月2日と3日の両日、「晩秋のファンタジーナイト」を開催し、サックスの生演奏やジャズライブなどのイベントを行い、訪れた皆様に色彩豊かに染まった庭園の幻想的な景色を楽しんでいただきました。

## 23 第25回宮古市産業まつりにについて

10月5日と6日の両日に本市及び市観光物産協会の職員が参加し、特産品の販売や観光PRを行ったほか、オープニングセレモニーでは「大仙市・宮古市友好交流都市協定締結」を記念して昼花火320発を打ち上げました。

## 24 宮崎県宮崎市との有縁友好交流について

10月25日から27日までの3日間、協和地域さどわら会の会員をはじめ、市長、市議会議員など関係者44名が宮崎市を訪問し、宮崎神宮大祭のパレードで「大曲の花火」や「500歳野球大会」などを紹介し、大仙市をPRしました。

## 25 神奈川県座間市との友好交流について

11月15日から17日までの3日間、青少年交流事業として大仙市選抜少年野球チームの児童18名が座間市を訪問し、地元の野球チームと試合を行い、交流を図りました。

また、16日から17日までの2日間、市民団体「大曲日の出町 防災・防犯の会」の12名が座間市を訪問し、座間市の「グリーンタウン自主防災会」とそれぞれの活動紹介や意見交換、防災ゲームなどを行いました。

17日には「第34回座間市民ふるさとまつり」が開催され、副市長並びに市議会議長をはじめ、市職員や物産中仙株式会社などの関係者が参加し、特産品等の紹介や販売のほか、観光地・施設等をPRしました。

### 【建設部】

## 26 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について

11月9日に間倉地区の築堤工事が完成し、御法川国土交通副大臣はじめ、関係各位の列席のもと完成式典を挙行いたしました。

## 27 「（仮称）はなびの小路整備事業」について

花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」へのアクセス性と市街地の回遊性向上を図るため、丸子川左岸の堤防歩道に係る整備工事を6月に発注し、12月中に完成する予定となっています。

### 【教育委員会 教育指導部】

## 28 大仙市立小学校空調設備設置工事について

9月24日に大曲小学校、中仙小学校、高梨小学校及び太田南小学校の4校、翌25日に花館小学校、神岡小学校、西仙北小学校、協和小学校及び南外小学校をあわせた9校の設置工事が完了しています。

### 29 大曲中学校水泳プール改築工事について

昨年の8月から着工している大曲中学校の水泳プール改築工事については、10月29日に完了しています。

### 30 大仙防災教育「生き抜く力育成」事業について

10月29日、豊成中学校を会場に地域の自主防災組織や大仙市赤十字奉仕団、市職員、中学生サミットのメンバーなどに加え、岩手県大船渡市立赤崎中学校の2年生17名を含む約260名が参加し、地震発生時の避難訓練と避難所開設における初期対応を体験しています。

### 31 こころのプロジェクト「夢の教室」音楽バージョンについて

11月13日と14日の両日、ピアニストの佐藤卓史氏を夢先生に迎え市内小中学校21校の児童生徒を対象に大曲市民会館及び和ピア大仙市協和市民センターを会場に開催しています。

#### 【教育委員会 生涯学習部】

### 32 生涯学習の推進について

10月20日、「大仙市秋の稔りフェア」を会場にステージ発表「ヒカリオ☆MIRAIステージ」を開催し、地元ダンススクールの舞踊や子ども向けヒーローズステージ、県内外で活動しているアーティストなどによるステージパフォーマンスを行っています。

なお、19日に同イベントで予定していた太鼓披露や大曲農業高校の仮装行列コンテストなどについては、降雨により中止となりました。

### 33 東北将棋大会について

11月7日から10日までの4日間、東北の11大学から74人が参加し開催されております。

10日には、ぬく森温泉「ユメリア」を会場に、第36回東北将棋大会並びに第14回大仙市民交流将棋大会が開催され、日本将棋連盟所属のプロ棋士2名と、日本女子プロ将棋協会所属の女流棋士1名を迎え、実力者同士の名人戦やクラス別による対戦が行われています。

なお、この大会の前日には、大曲小学校を会場に小学生による「学校対抗戦」が開催され、市内の6つの小学校から28名が参加し、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

### 34 大仙市音楽祭2019について

11月9日と10日の両日、大曲市民会館を会場に開催し、初日は市内児童生徒によるコンサートをはじめ、幅広い世代の愛好者による音楽会、横濱音泉倶楽部によるジャズコンサートを行いました。2日目は「0歳からのジャズコンサート」のほか、大仙市音楽祭オーケストラ演奏会を行い、多くの方に鑑賞いただきました。

### 35 「だいせん読書の日」について

「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」により毎年11月第1木曜日を「だいせん読書の日」と定め、11月7日で5年目を迎えており、各図書館において読書を推進するための関連イベントを実施しています。

### 36 文化財保護について

10月25日に開催された大仙市文化財保護審議会の答申により、11月20日、大曲地域にある大川寺のご本尊「大日如来坐像」を新たな文化財として指定しています。

### 37 秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！鹿角大会について

10月6日に鹿角市を会場に県内25市町村から33チームが出場して開催されており、本市チームが市の部門で6位に入賞しています。

## 【上下水道局】

### 38 上水道事業について

9月20日に戸巻地内配水管改良工事が完了しました。

また、簡易水道事業と一体となり整備する統合型管路台帳システム構築業務は、プロポーザルにより選定した業者と10月7日に契約を締結しています。

### 39 簡易水道事業について

雄物川築堤工事に伴う配水管布設替工事が8月22日に、協和南部地区簡易水道の配水管布設替工事が9月12日にそれぞれ発注を終えています。

また、統合型管路台帳システム構築業務は、プロポーザルにより選定した業者と10月7日に契約を締結しています。